

第43回赤レンガフォーラムを開催しました！

第1部 特別講演「ナチス」にかかわるいくつかの訳語を通じて「今」を考える」

講師：金関 猛先生 放送大学岡山学習センター客員教授・岡山大学名誉教授 専門分野：ドイツ文学 フロイト研究

第2部 学生発表「一卒業研究を振り返ってー ライアーを使用した音楽療法の可能性を探るー精神科領域に焦点を当ててー」

放送大学 全科履修生 生活と福祉コース在学中 河田 和子氏

実施日：2023年8月19日(土) 13:30~16:35

会場：放送大学岡山学習センター（会場：第2講義室）

放送大学岡山学習センターでは、学生と教職員の相互の学びのための一般公開フォーラム第43回赤レンガフォーラムを開催しました。第1部は、放送大学岡山学習センター客員教授の金関 猛先生による特別講演。第2部は、放送大学 教養学部 全科履修生 生活と福祉コース在学中の河田 和子氏が、卒業研究を振り返る内容で学生発表を行いました。

今回は、会場定員62名満席申込にて多数の皆さまに参加いただきました。ありがとうございました。

第1部【特別講演】13:40~15:20

「『ナチス』にかかわるいくつかの訳語を通じて『今』を考える」

金関 猛（かなせき たけし）先生

専門分野：ドイツ文学・フロイト研究

放送大学岡山学習センター客員教授

岡山大学名誉教授



「『ナチス』にかかわるいくつかの訳語を通じて『今』を考える」と題して、「ナチス」という語が何を意味するのか、また「非ナチ化」を大義とする他国への侵攻とはどういうことなのか—こうしたことをテーマとしてご講演をいただきました。

はじめに「ナチ」「ナチス」の言葉の意味を国語辞典、独和辞典で確認し、日本語ではその訳語が確定していないことを確認しました。そのうえで本来その語が何を意味するのかを考え、訳語としては現在定着しつつある「国民社会主義」が適切であろうという説明がありました。その説明のなかで、国民社会主義は妄想的な人種主義であり、妄想イデオロギーに基づいて空前絶後の大虐殺が行われたというお話がありました。さらに「総統」や「第三帝国」といった語について検討がなされ、国民社会主義ドイツの特徴について解説されました。

最後に、「世界を征服しようとしたナチスの狂気」と戦うことを戦争の口実とし、ウクライナと国民社会主義ドイツを同等に扱うことは、「ナチス」、「国民社会主義」の狂気をあまりに軽視することにはならないか、それは犠牲者の冒とくに当たるのではないかと締めくくっていただき、「今」に含まれる意味について会場全体で学びを深めることができました。

第2部【学生発表】 15:30～16:30

「－卒業研究を振り返って－ ライアーを使用した音楽療法の可能性を探る

－精神科領域に焦点を当てて－

河田 和子（かわた かずこ）氏

教養学部 全科履修生 生活と福祉コース在学中

2021年度に履修された卒業研究を振り返り、研究された内容等を発表されました。実際にライアーを生演奏され、会場の皆様と交流が深まり、素晴らしい研究発表となりました。



参加された皆様の声

当日参加いただいた皆さまより、多くのお声を頂戴しましたので一部を紹介いたします。

- ・ロシアによるウクライナ侵攻、ネオナチの歴史、ユダヤ教人種の問題に疑問を持っていたが、過去のつながりが少し理解できた。
- ・言葉の意味から講義をしていただき、理解した。なぜ、ユダヤ人またユダヤ人ではない弱い立場の方々も迫害、大量虐殺した歴史の真実を理解したいと思った。
- ・現代世界を考えるヒントとしても勉強する根拠となり、大きな意義があった。
- ・情報を鵜呑みにしない。自分で考える。事実や真実、歴史や数学として論理的に考えることが大事。
- ・「ライアー」という楽器を使って、音楽療法がますます盛んになりますように願っています。
- ・心理療法には色々あると思いますが、その症状に合わせたものが必要でしょう。
- ・「ライアー」についての精神科領域での研究を聞くことができた。

次回の赤レンガフォーラムについて

第44回赤レンガフォーラム

実施日：2024年2月17日(土) 13:30～17:05

会場：放送大学岡山学習センター 6階 講義室

申込先着順 会場定員62名

第1部 特別講演 「生きた英語の部屋－楽しく学びつつ効果的に習得する－」

講師：服部 美佳 先生

岡山学習センター客員准教授・岡山大学工学部非常勤講師 専門分野：英語学

第2部 学生発表

- ① 「－卒業研究を振り返って－英語学習の過程－6年間のジャーナルの記述から－」
- ② 「－卒業研究を振り返って－リーディングが英語の総合力に与える影響について」
- ③ 「－卒業研究を振り返って－英語学習において 映画や歌の利用が果たす役割について」

放送大学 全科履修生 生活と福祉コース在学中 ①松尾 登志子氏 ②菅 千恵美氏 ③覚正 直美氏

※詳細が決まりましたら、システムWAKABA学内連絡、岡山学習センターウェブサイト、館内掲示、まなびー通信等にてお知らせいたします。放送大学生も一般の方も参加いただけます。ぜひ周囲の方を誘ってご参加ください!!

